

(選定結果公表資料)

王禅寺四ツ田緑地の指定管理予定者の選定結果について

1 概要

(1) 施設概要

名称：王禅寺四ツ田緑地

所在地：川崎市麻生区王禅寺四ツ田1028-2ほか

施設内容：王禅寺四ツ田緑地における管理運営業務及び維持管理業務、王禅寺四ツ田緑地等における利活用運営業務

(2) 指定期間

令和6年4月1日～令和11年3月31日

(3) 指定管理予定者の概要

名称：特定非営利活動法人国際自然大学校

所在地：東京都狛江市岩戸北4丁目17番11号

主な業務内容：ア 自然体験活動等に関する旅行業
イ 自然体験活動等の指導者の育成事業
ウ 自然体験活動等に関する情報提供事業
エ 自然体験活動等に関する調査研究事業
オ 自然体験活動等に関する政策提言活動
カ 自然体験活動等に関する受託事業
キ 自然体験活動等の調査研究に関する書籍の卸・販売事業
ク 自然体験活動等の教材の卸・販売事業
ケ 自然体験活動等に関する施設の管理及び運営

* 指定管理者の決定は、令和5年第5回市議会定例会（12月議会）における指定議案可決後となります。

2 選定の経緯

令和5年 8月 募集開始

令和5年 9月 募集締切

令和5年10月 民間活用事業者選定評価委員会
指定管理予定者を決定

3 応募状況

説明会参加：5団体

応募団体：1団体

4 民間活用事業者選定評価委員会委員

- 【学識経験者】水庭 千鶴子（東京農業大学地域環境科学部教授）
- 【学識経験者】垣内 恵美子（政策研究大学院大学名誉教授）
- 【公認会計士】志村 恵美子（志村公認会計士事務所）
- 【学識経験者】前田 成東（東海大学政治経済学部教授）
- 【学識経験者】和 秀俊（田園調布学園大学人間福祉学部教授）

5 選定理由

特定非営利活動法人国際自然大学校は、これまでの当施設の委託管理業務の経験を活かし、実現可能で安定的な維持管理運営が見込める点が評価され、当該団体を選定した。

- (1) 事業目的の達成とサービス向上への取組について
事業目的を踏まえた方針が示されており、効果的な広報の実施方法や幅広い世代に対応する企画が具体的に示されている。
- (2) 事業経営計画と管理経費縮減等への取組について
収支計画の内容、管理経費や維持コスト等の縮減への提案は適切であると認められる。
- (3) 事業の安定性・継続性の確保について
セルフモニタリングや業務改善、本社のバックアップ体制など、具体的に示されており、適切であると認められる。
- (4) 職員の人材育成や団体の経営方針等について
自然体験活動の指導技術や安全管理に係る研修など職員の資質向上に向けた研修を行い、団体の理念や経営方針は適切であると認められる。
- (5) 応募団体の取組について
環境などの社会問題に対する認識、コンプライアンスや個人情報の保護等に対して必要な認識を持ち、具体的な取組が示されている。

6 審査結果（※基準点450点以上）

選定基準	配点	指定管理 予定者
① 事業目的の達成とサービス向上への取組について	580点	403点
② 事業経営計画と管理経費縮減等への取組について	40点	25点
③ 事業の安定性・継続性の確保について	40点	29点
④ 応募団体自身に関する項目	30点	27点
⑤ 応募団体の取組に関する項目	60点	41点
⑥ 合計	750点	525点

7 指定管理予定者として選定された団体の主な提案内容

<p>(1) 王禅寺四ツ田緑地他保全緑地の利活用維持管理運営方針について</p> <ul style="list-style-type: none">・事業目的を達成するために、①心ゆたかな子どもの育成、②地域のみんなで育てる里山づくり、③地域の活性化、④安心できる指導者による支援の四つのテーマに沿った取組の実施・行動指針に基づき運営し、保全と利活用の好循環に繋げる。
<p>(2) 維持管理運営について</p> <ul style="list-style-type: none">・緑地開放日（一般開放、団体利用）の利用方法や人員体制・自然体験活動の専門知識・技術を活かした体制づくり・安全管理マニュアルの整備、リスクマネジャーの配置、AED設置など安全確保に対する取組の実施・緊急時対応マニュアルを整備、安全管理に関わる研修を実施し、事故や災害時に迅速に対応を行う。・ウェブサイトやSNS、チラシや広報誌などの紙媒体など、シチュエーションに合わせた広報の実施・活動中に利用者に積極的に声かけを行い、気軽に意見を言える環境を作るとともに、利用者からの苦情・トラブルは、迅速に対応する。
<p>(3) 利活用について</p> <ul style="list-style-type: none">・王禅寺四ツ田緑地保全活用方針に沿って、エリアを区切り、自然体験活動・環境教育団体と連携して保全活動を行う。・地元ボランティアを募り、毎月2回「四ツ田整備隊」として整備や保全活動を行う。・自由に様々な遊びや体験活動ができる「四ツ田プレーパーク」や、自然観察会や自然体験イベントの開催・緑地利活用イベント「わんぱくの森」の実施
<p>(4) 提案事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・参加者へのアンケートの実施、また、参加者との顔の見える関係を作り、意見を聞き取り、運営に反映する。・幼稚園や小中高校、大学などの教育施設やこども文化センターなど地域の施設と連携し、利用を促進する。
<p>(5) 自主事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・里山メンマプロジェクト、よつだ染め物クラブ、グリーンウッドワーク講座などの開放日特別プログラム・団体利用向けプログラム・幼稚園や保育園、小中高校などを対象に各年代ごとに適した里山体験事業などのプログラム・「森林ボランティア×福利厚生」をテーマに、企業のCSR活動や、研修の場として企業を王禅寺四ツ田緑地に誘致

<p>(6) 事業経営計画と管理経費縮減等への取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入は指定管理料のみ。支出に関しては、初年度に広報費など初期に必要な経費を多く計上し、年々上昇する人件費に対応している。 ・オンラインツールの活用や廃棄物の再利用などにより管理経費を縮減
<p>(7) 事業の安定性・継続性の確保への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートを活用し、月に1回のセルフモニタリングを実施、四半期に1度利用実績やアンケートなどの運営状況について団体本部が改めて確認 ・課題の集約化・共有化を行い、緊急性の高い事象については速やかに対応する。 ・他施設での事例報告を収集し、職員への情報共有を行い、業務改善につなげる。 ・本部や類似施設、全国規模で活躍するネットワーク団体のバックアップ体制の確保
<p>(8) 応募団体自身に関する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類似業務実績に基づく研修や外部の研修を活用 ・自然体験活動指導者 (NEAL) やCONEリスクマネージャーなどの専門資格を活かした業務実施 ・様々な体験型の野外教育・環境教育プログラムを通し、自然や人とのかかわりの中で人生を前向きに生きている人、アウトフィッターを育てるという理念を持っている。
<p>(9) 応募団体の取組に関する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃材の再利用、雨水貯水タンクによる雨水の再利用 ・コンプライアンス研修の実施 ・個人情報の管理の徹底、個人情報の管理方針に基づく対応 ・樹木の伐採や植生調査などの業務での市内事業者の活用 ・イベントや自主事業での市内事業者との連携

8 提案額

109,450千円 (指定期間総額)

川崎市建設緑政局緑政部みどり・多摩川協働推進課協働推進担当

Tel044-200-2365